

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名		地域公共交通推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略		
					●			
事業対象	町民、事業者	目的	路線バス・コミュニティバス等の再編・見直しや新たな交通手段の検討など、日常生活の移動を確保する。					
事業概要	二宮町地域公共交通活性化協議会を中心に交通施策の検討、検証、事業展開を協議し、公共交通の確保・改善に取り組む。							

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	地域公共交通推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	105	84	130			
	概算人件費	2,857	1,476	3,462			
	トータルコスト	2,962	1,560	3,592	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0			
	その他	0	0	0			
R 7 概算人件費	正規職員	0.55 人		2,559 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.33 人		903 千円			
	その他	人		千円			
	合計			3,462 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	コミュニティバスの乗車人員【交通計画】(人/日)	計画値	84.1	92.6	101.1	109.6	118.1	126.6
		実績値		97.0	119.6	129.6		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域公共交通の確保	4.01	2.72
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・昨年度から引き続き、地域の通いの場にて地域公共交通に関する説明や、町コミュニティバスの利用案内を実施した。（全9回実施） ・町コミュニティバスの夏季期間（7月から9月）における中学生以下の小人運賃の無料化、また、11月17日に開催した湘南ふるさとまつりにて臨時運行を実施することで、利用促進とイベント等における移動手段の確保を図った。
	課題	・公共交通カバー圏域外にあたる地域と協議を実施したが、具体的な対応策を決定するまで至っていないことから、引き続き地域と調整しながら福祉的視点も含めた検討を行う。 ・昨年度から引き続き、庁舎移転を見据えたコミバスの見直しを検討すると同時に、今後、運転士不足等による民間路線バスの減廃便等が見込まれることから、対象となる運行地域における対応策の検討や交通事業者との協議を進める。
今年度	成果（実績）	・地域の通いの場において、地域公共交通やコミュニティバスの利用に関する周知を実施した。（全8回） ・夏休み期間中にコミュニティバスの中学生以下の運賃を無料化、また、町制施行90周年や湘南にのみやふるさとまつりのイベントに合わせて臨時運行を実施するなど、利用促進とイベント等における移動手段の確保を図った。 ・民間路線バス事業者から運転士不足を理由とした「今後の地域の交通のあり方」について、協議の申し入れがあったことから、地域公共交通活性化協議会及び協議会内に設置した「幹事会」において、協議を行った。
	課題	・新庁舎の移転を令和10年5月に予定しており、持続可能な公共交通を確保する観点からも、コミュニティバスの再編について検討を進める必要がある。 ・民間路線バス事業者に対しては、最大限路線の維持をしてもらうように協議を進めている。民間路線バス事業者から示され新たな提案について、協議会及び幹事会の中で協議を継続していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	広報活動事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	主に町民	目的	各種媒体を活用し積極的な町情報の発信に努める。				
事業概要	広報にのみやの発行、町ホームページの更新・維持管理、広報板管理を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	03	大 事 業	広報活動事業
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	6,734		6,797		5,623	
	概算人件費	5,944		6,741		4,867	
	トータルコスト	12,678		13,538		10,490	0
	国庫/県支出金	0		0		0	
	その他	1,150		1,067		1,162	
	R 7 概算人件費	正規職員		1.13 人		4,867 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				4,867 千円	

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町ホームページのアクセス件数（件）	計画値	845,738	660,000	670,000	680,000	690,000	700,000
		実績値		677,239	817,784	832,202		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・前年度は、アクセス件数の計測方法を変更したことで実測値が下がった可能性があったが、LINE上で広報紙を公開したほか、広報板等掲示の申込やメッセージ配信を行ったことで実測値が上昇した。
	課題	・広報紙のページ数の縮小を進めるが、必要な情報は引き続き、広報にのみやに掲載しつつ、ホームページやLINEなどを活用しながら、情報発信を強化する必要がある。
今年度	成果（実績）	・令和7年7月号から広報紙のページを12ページに縮小し発行しているが、記事の精査を行うことで、縮小前と同様の情報発信ができています。また、ホームページのほかLINEやFacebookを通じた情報発信に努めた。
	課題	・広報紙のページ数を縮小したため、引き続き、情報を精査しながら掲載していく必要がある。また、ホームページのほかLINEやFacebookでの情報発信を強化し、情報をつかみやすくしていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

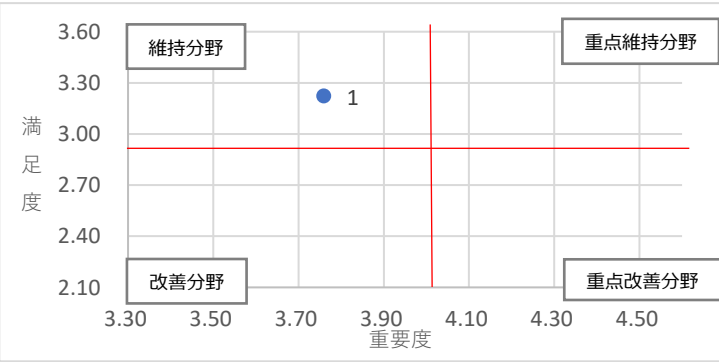
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	「にのみやL i f e」移住・定住・交流P R事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町内外の住民	目的	移住定住の促進を図るため、町の魅力を発信する事業を推進する。				
事業概要	県が開催する移住セミナーへ参加のほか、町独自で移住相談会を開催するなど、移住希望者へ情報発信を図る。また、移住者同士の交流も図り定住・交流を促進する。						

事業予算								
会計	01	款項目	02	01	03	大事業	「にのみやL i f e」移住・定住・交流P R事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	127	111		51			
	概算人件費	2,083	2,324		1,897			
トータルコスト		2,210	2,435		1,948		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.42 人			1,897 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,897 千円			

成果指標			基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	町HPの「にのみやLife」の閲覧数【戦略】（件）	計画値	44,474	142,000	144,000	146,000	148,000	150,000
		実績値		140,542	163,789	146,603		
②	二宮町の社会移動数【戦略】（人）	計画値	+57	+60	+65	+70	+75	+80
		実績値		+80	+67	+79		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・オンライン移住相談会等は新たにLINEによる周知や申込を開始した。 ・二宮町公式YouTubeにおいて、移住プロモーションのショート動画を公開した。
	課題	・オンライン移住相談会等であった相談QAを「にのみやLife」に掲載するなど、ページを閲覧することで情報が得られるよう、内容を充実させる必要がある。
今年度	成果（実績）	・町単独の移住相談会開催のほか、神奈川県移住セミナーに参加するなど、移住促進に努めた。また、ホームページ、LINE、Facebookなどを通じて周知を図った。
	課題	・情報発信内容を充実させる必要がある。また、町外への情報発信媒体・方法について検討し、効果的に情報発信をしていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	まちづくり移動町長室の実施				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	町が抱える課題について、行政と町民・地域が一体となって考え、対話によるまちづくりの促進を図る。				
事業概要	各地区の意向を確認し、場所と日程を調整のうえ地区別まちづくり移動町長室を開催する。 特定のテーマ課題を共有する団体からの呼びかけを受け、テーマ別まちづくり移動町長室を開催する。						

事業予算							
会計		款項目				大	事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	0	0	0			
	概算人件費	896	653	727			
	トータルコスト	896	653	727	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.13 人		727 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			727 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	まちづくり移動町長室参加者数（人）	計画値	93	100	110	120	130	140
		実績値		109	151	66		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・町内すべての地区を対象として5か所で開催したほか、2団体を対象に開催し、多くの方に参加いただいた。
	課題	・地区により参加人数にばらつきがあるなど、多くの町民に参加を促せるよう周知をする必要がある。
今年度	成果（実績）	・町内すべての地区を対象とし、令和7年度からは小学校区ごとの3か所で開催したことで効率的に開催することができた。
	課題	・開催箇所を減らしたことで効率的に開催することはできたものの、参加者が減少してしまったため、多くの町民に参加を促せるよう周知をする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	まちづくり総合調整事業（総合計画策定推進事業）				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	全体	目的	総合計画の効果的・効率的な推進を図るため、行政評価に基づく進行管理を実施する。				
事業概要	前期基本計画の推進及び、行政評価による進行管理を行う。また、次期総合計画の策定に向け準備を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	0	86		130			
	概算人件費	1,444	1,267		1,676			
トータルコスト		1,444	1,353		1,806		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.33 人			1,676 千円			
	再任用職員	人			千円			
	会計年度任用職員	人			千円			
	その他	人			千円			
	合計			1,676 千円				

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	事業の統廃合数【行革】（事業）	計画値	3	2	4	6	8	10
		実績値		1	2	4		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・新たな評価体系による令和 5 年度実績に対する行政評価を実施した。 ・外部の有識者等で構成される政策評価委員会による評価を実施し、委員会内で挙げられた意見等を担当課と共有し、課題に対する対応を検討した。
	課題	・令和10年度からを計画期間とする後期基本計画の策定に向け、総合計画に統合可能な計画の研究や、評価事務等の効率化を目指し、より、効果的で各課への負担等を軽減できる計画のあり方を検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	・政策評価委員会から意見のあったKPIについて、見直しを検討し、KPIを一部修正した。具体的には、「ファミサポのまかせて会員数」を「ファミサポ支援件数」に変更した。 ・「行政評価」と「総合戦略評価」の施策評価を統合して評価シート数を「16」から「6」に見直し、評価を行った。
	課題	・後期基本計画の策定に向けて、「総合計画」と「総合戦略」を一体的な計画とするように進めていく必要がある。また、評価事務等の効率化を目指し、より効果的で各課への負担等を軽減できる計画のあり方を検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	まちづくり総合調整事業（総合戦略推進事業）				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	全体	目的	国・県の総合戦略を勘案し策定した「二宮町人口ビジョン」並びに「二宮町総合戦略」に基づき、効率的・効果的な行政運営を図る。				
事業概要	二宮町総合戦略の推進及び、内部・外部評価による進行管理を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	106	86		130			
	概算人件費	1,444	1,267		1,676			
トータルコスト		1,550	1,353		1,806		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.33 人			1,676 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,676 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	「住み続けたいと思う町民の割合」【戦略】（％）	計画値	86.8	87.2	87.4	87.6	87.8	88
		実績値		80.1	78.9	81.7		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・新たな評価体系による令和 5 年度実績に対する評価を実施した。 ・外部の有識者等で構成される政策評価委員会による評価を実施し、委員会内で挙げられた意見等を担当課と共有し、課題に対する対応を検討した。
	課題	・政策評価委員会より、一部KPI等において、進捗状況の測定として不十分な指標が見受けられるとの指摘があったため、計画に位置付けているKPIの見直しを検討する。
今年度	成果（実績）	・政策評価委員会から意見のあったKPIについて、見直しを検討し、KPIを修正した。具体的には、「ファミサポのまかせて会員数」を「ファミサポ支援件数」に変更した。 ・「行政評価」と「総合戦略評価」の施策評価を統合して評価シート数を「16」から「6」に見直し、評価を行った。
	課題	・政策評価委員会や町民意見募集の意見を踏まえ、より適切なKPIを設定する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

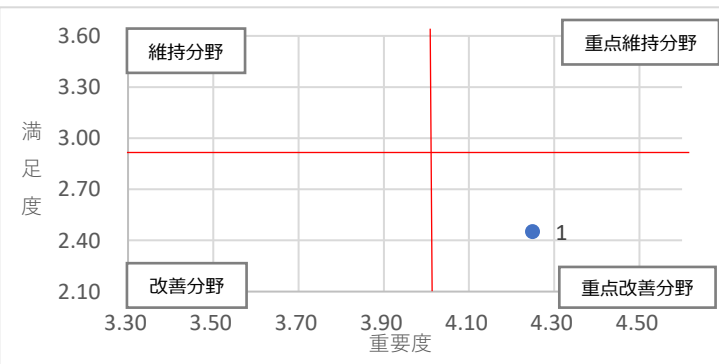
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	行政改革推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、職員	目的	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。				
事業概要	第6次二宮町行政改革大綱・推進計画の推進及び、進行管理を行う。また、次期行政改革大綱・推進計画の策定に向け準備を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業
		R5決算額（千円）		R6決算額		R7決算額	R8決算見込
							R9事業費
	直接事業費	0		0		0	
	概算人件費	798		1,023		923	
	トータルコスト	798		1,023		923	0
	国庫/県支出金	0		0		0	0
	その他	0		0		0	0
	R7概算人件費	正規職員		0.18人		923千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				923千円	

成果指標			基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	公共施設の総延床面積(㎡) 【戦略】(施設)	計画値	68,729.08	68,589.08	68,449.08	68,309.08	68,169.08	68,029.84
		実績値		68,607.07	66,570.30	66,570.30		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・現時点の状況を踏まえ、第6次二宮町行政改革推進計画に位置付けるKPIの見直しを実施した。
	課題	・引き続き、第6次二宮町行政改革推進計画に基づき事業を進める。
今年度	成果（実績）	・第6次二宮町行政改革推進計画に位置付けるKPI「取り組み事項10 広域連携や産官学連携の推進」に設定している連携事業数について見直しを実施した。具体的には、これまで包括連携協定を締結した団体との事業に限定していたが、実状に即した数値とするため、全ての連携事業を対象とした。
	課題	・第6次二宮町行政改革推進計画に基づき事業を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

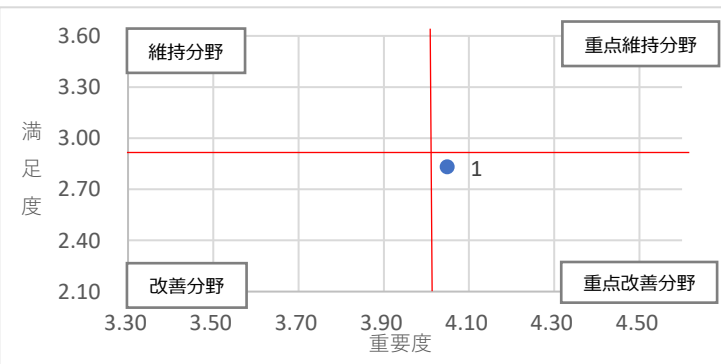
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	広域行政推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	県・近隣自治体	目的	広域連携のスケールメリットを活用した、行政課題の解決や業務の効率化などを図る。				
事業概要	広域的な行政施策や取り組みを必要とする行政課題等の情報交換及び連絡調整を図り、広域行政を推進する。						

事業予算								
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	広域行政推進事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	13	12		22			
	概算人件費	644	800		852			
トータルコスト		657	812		874		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.22 人			852 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			852 千円			

成果指標		基準値		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	新たに広域で連携する事業数	計画値	－	検討	検討	検討	検討	検討
		実績値		0	0	0		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広域連携の推進	4.05	2.83
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・令和 6 年度において新たな広域連携事業はなかったが、既存の事業については順調に事業を運営した。
	課題	・町が抱える課題のうち、広域で解決すべきものがないか検討を続けるとともに、引き続き近隣自治体の動向や社会情勢も見定めながら、スケールメリットを生み出せる事業の研究を続ける。
今年度	成果（実績）	・新規広域連携事業はないが、既存の事業を順調に運営できた。
	課題	・広域で解決する課題がないか、近隣自治体の動向や社会情勢を踏まえ検討を続ける必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

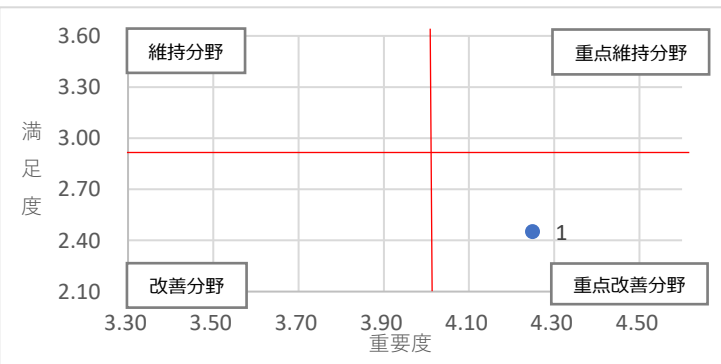
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	産学連携				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民、事業者、学校	目的	企業や大学等の専門性や枠組みに囚われることのない柔軟な発想を生かした効果的・効率的なまちづくりを進める。				
事業概要	大学との連携事業を推進するとともに、新たな連携の可能性を検討する。						

事業予算							
会計		款項目				大 事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	0	0	0			
	概算人件費	395	345	478			
トータルコスト		395	345	478	0	0	
国庫/県支出金		0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費		正規職員	0.10 人		478 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			478 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	連携事業数（広域連携・産官学連携）【行革】	計画値	14	15	16	17	18	19
		実績値		18	19	19		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・神奈川大学での出前授業を実施した。令和 6 年度は町の学校教育をテーマに講義を実施し、学生からテーマに対する意見を聴取した。 ・「地域ブランド創造プロジェクト」として、町、株式会社ファームビレッジ湘南、株式会社ユニバーサル農場、産業能率大学が連携し、湘南オリーブを使ったメニュー開発の発表会・試食会などを実施した。
	課題	・引き続き、業務の効率化等に資する連携事業を検討する。
今年度	成果（実績）	・神奈川大学での出前授業を実施した。令和 7 年度は防災をテーマに講義を実施し、学生からテーマに対する意見を聴取した。
	課題	・大学との連携を強化し、業務の効率化や町の課題に対して効果的な事業を検討を重ねる必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」					※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」				
1次評価(所管課)	総合評価	適当			方向性	現状維持			
2次評価（庁内）	意見								
	総合評価	適当			方向性	現状維持			